

－ 日本草地学会島根大会 日程 －

3月27日(金)		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
受付	4Fロビー					受付						
テルサホール	1F * 技術会議アピールタイム						優秀若手 発表賞発表	*		一般口頭 発表		
A会場	大会議室					国際情報 担当委員会				一般口頭 発表		
B会場	中会議室									一般口頭 発表		
C会場	研修室1				評議員会					一般口頭 発表	優秀若手 発表賞選考 委員会	
ポスター会場	4Fロビー					ポスター・賛助会員展示						
会員控室	研修室2					会員控室(食事可)						
託児室	小会議室					開設						

3月28日(土)		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
受付	4Fロビー	受付											
テルサホール	1F	公開シンポジウム 「近畿中国四国地域における地域資源を活用した和牛生産と今後の温暖化・環境変動に適応した草地飼料生産研究の取り組み」						総会・学会賞等授与式 ・受賞講演					
A会場	大会議室												
B会場	中会議室						和文誌編集委員会						
C会場	研修室1					英文誌編集委員会							
ポスター会場	4Fロビー					ポスター・賛助会員展示		奇数番号・高校生 コアタイム	ポスター・賛助会員展示				
会員控室	研修室2	会員控室(食事可)											
託児室	小会議室	開設											
懇親会	松江エクセルホテル東急2F宴会場	18:30～20:30(懇親会会場は別の建物となります。会場へのアクセスをご確認ください)											

二:

3月29日(日)		8:00			9:00			10:00			11:00			12:00			13:00			14:00			15:00			16:00			17:00		
受付	4Fロビー													受付																	
A会場	大会議室				シニア発表	一般口頭発表																									
B会場	中会議室				一般口頭発表									小集会(若手の会) 「気候変動と草地の課題について考える」																	
C会場	研修室1				一般口頭発表						草地学教育委員会																				
ポスター会場	4Fロビー				ポスター・賛助会員展示			偶数番号 コアタイム			ポスター撤去																				
会員控室	研修室2				会員控室(食事可)																										
託児室	小会議室				開設																										

口頭発表プログラム 3月27日			
テルサホール（1F）			
時間	座長	優秀若手発表賞発表	
13:00	土井和也	Y01	野草地放牧下における草資源量の変化に伴う黒毛和種繁殖雌牛の行動・空間利用性の経時的変化 ○花村克起1・中嶋紀覚2（1農工大農学府・2農工大FSセ）
13:15		Y02	山地放牧地におけるウシの選択採食の評価：植物群落—フィーディングステーションスケールでの解析 ○鈴木彩伽1・糸 寛彦2・小倉振一郎2（1東北大農・2東北大院農）
13:30	休憩		
13:45	胡日查	Y03	ドローンによる草地更新1年目のウマ放牧地の植被動態評価と放牧強度の影響 ○緒方海央・川村健介・南保泰雄・甞 美里・垣内香澄（帯畜大）
14:00		Y04 ◎	加速度センサーデータの深層学習による放牧ウマ採食行動分類モデルの検討 ○垣内香澄1・川村健介1・緒方海央1・上田靖子2・上田宏一郎3・河合正人4・根岸菜都子5・松井 朗5（1帯畜産大・2農研北海道・3北大院農・4北大FSC・5JRA日高育成牧場）
14:15	休憩		
14:30	山田大吾	Y05	放牧泌乳牛へのコーンサイレージ補給が放牧地における牛糞の分解と微生物バイオマス動態に及ぼす影響 ○佐藤 桃1・呉 成真1・三谷朋弘1・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）
14:45		Y06	放牧地の傾斜および植生が四足歩行ロボットの走行に及ぼす影響 ○木本遥己・柿原秀俊・胡日查・渡辺也恭・平野清（農研西日本）
15:00	休憩		
15:05	座長	技術会議アピールタイム	
	山田大吾		農林水産技術会議事務局 令和8年度予算概算決定の概要 ○堤 道生（農林水産省）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>			

口頭発表プログラム 3月27日							
テルサホール (1F)				A会場 (大会議室)			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
16:00	中村直樹	101	日本国内の草原植物に含まれる水銀 ○伊禮 聡1・米村正一郎2・亀山 哲3・島崎彦人4・佐久間東陽4 (1国水研・2県立広島・3国環研・4木更津高専)	16:00	金子真	201	長野県における播種後1年目のジョンソングラスの生育特性および栄養価 ○野口麗菜1・中田 花1・齋藤壮馬1・今井裕理子2 (1信大院総理工・2信大農)
16:15		102	都井岬のシバ型草地における現存量と被食量および再生量の24年間の変動 ○西脇亜也 (元 宮崎大・農)	16:15		202	蹄耕法によりオーチャードグラス衰退放牧地へ追播した新品種「なつひかり」等による草地生産性の改善 ○北川美弥 (農研畜産)
16:30		103	シカ防護柵の有無が北海道東部の牧草生産性に及ぼす影響評価 ○田中常喜1・清野大樹1・稲富佳洋2・亀井利活3・白根ゆり2・有田敬俊1・遠藤哲代1・釣賀一二三2 (1道総研酪農試・2道総研エネ寒地研・3道総研本部)	16:30		203	北海道における垂直式営農型太陽光発電が農作業効率に及ぼす影響 ○吉岡 徹・土井和也 (酪農大循環農)
16:45		104	ヒツジの野草地放牧におけるキク科野草の有用性 ○友田和沙1・高岸愛可2・藤田千鶴2・辰野遥夏2・浅野桂吾2 (1石川県大院生資環・2石川県大生資環)	16:45		204	飼料用ダイズ栽培に適した春播種リビングマルチ用の草種・品種の検討 ○出口 新・森田聡一郎・嶋野英子 (農研東北)
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>							

口頭発表プログラム 3月27日							
B会場 (中会議室)				C会場 (研修室1)			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	6. 育種	
16:00	服部育男	401	群飼養された乳牛の寒冷期と暑熱期の飼料摂取量および乳量の比較 ○花田正明・岡 達丸・橋本凛太郎・川村健介・藤倉雄司 (帯広畜大)	16:00	森欣順	601	「咲かないイネ」のWCS用イネ品種化に向けた、Os1900・Os5100 遺伝子変異導入による分けつ能力の強化 ○土屋柁樹1・Ammar Elakhdar1・西出典子1・橋本舜平1・宮崎虹輔1・波平知之2・森田隆太郎1・青木直大1・井澤 毅1 (1東京大院農・2琉球大農)
16:15		402	Molasses effects on fermentation dynamics and downstream ruminal metabolomic responses of Guinea grass-cowpea silage across ensiling periods ○Armess Prince Gynth Sossou・Masato Yayota (UGSAS, Gifu University)	16:15		602	チモシーにおける初期生育性の選抜効果 ○飯田憲司1・高島聡史1・鈴木美玲1・足利和紀2 (1道総研北見農試・2道総研畜試)
16:30		403	ライムギ新規育成系統SUR-10サイレージの栄養価、発酵品質および嗜好性 ○中田 花1・野口麗菜1・齋藤壮馬1・今井裕理子2 (1信大総理工・2信大農)	16:30		603	寒地向けオーチャードグラス晩生新品種「キタハレ」および「イコロ」の育成とその特性 ○真田康治1・秋山征夫1・佐藤広子1・田村健一2・安達美江子3・岩淵 慶3・奥村正敏3 (1農研北海道・2農研畜産・3ホクレン)
16:45		404	糖やFJLBを添加したライムギサイレージの発酵品質と栄養価 ○今井裕理子1・中田 花2 (1信大農・2信大総理工)	16:45		604	フェストロリウム「なつひかり」の九州低標高地における周年利用栽培での特性 ○荒川 明1・本室綾女2・衛藤央好2・石井怜2・齋藤武志2・上床修弘1・高井智之1 (1農研九沖・2大分農水研指セ畜産研)
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>							

口頭発表プログラム 3月29日

A会場（大会議室）				B会場（中会議室）			
時間	座長	シニア		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
9:00	雑賀 優	S01	Jack R. Harlanの「Crops and Man」再考 ○中川 仁（元 農研バイオマス研究セ）	9:00	藤 竿 和 彦	205	飼料用トウモロコシに対する作物生育モデルWOFOSTの転流動態を反映したモデル構築の試み ○今 啓人1・廣田和也2・堀越瑞貴2・松村悠生2・檜山魁士2・横山結衣3・岡元英樹4・中島大賢5（1道総研畜試・2北大院農研・3岐阜大院農研・4道総研天北・5北大院農）
9:15		S02	NAROインキュベーションラボの取り組み ○米丸淳一・山田哲也・梶浦雅子・鐘ヶ江弘美・工藤喜福・福田寛史・和田 楓（農研農情）	9:15		206	夏播き赤紫色スイートコーンの南九州における地域適応性 ○井戸田幸子1・西村拓也1・尾上来夏・西村幸次2・飛佐 学1・石井康之3（1宮大農・2JSeed, Inc.・3元宮大農）
9:30	米丸 淳 一	S03	医学博士夫妻が挑んだスギと牧草の花粉飛散研究 ○雑賀 優（元岩手連大）	9:30	休憩		
9:45		S04	外来雑草事始めー帰化雑草が外来雑草に変わった時 ○清水矩宏（元農研畜産）	9:45	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
10:00	休憩			10:00	飛 佐 学	405	夏季におけるTMRの二次発酵防止剤としての醸造酢の効果 ○小橋有里・関 誠（全酪連酪技研）
10:15	座長	2. 造成・管理・栽培		10:00		406	肥育牛向け発酵TMRの水分含量、濃厚飼料割合および貯蔵期間が発酵による栄養損失に及ぼす影響 ○河内大介1・森 欣順1・今成麻衣1・服部育男2・細田謙次1（1農研九沖・2東海大農）
10:15	東山 雅 一	207	晩秋の異なる刈取り時期がベレニアルライグラスにおける非構造性炭水化物組成と越冬性に及ぼす影響 檜山魁士1・松村悠生1・中島大賢1・○山田敏彦2（1北大院農・2北大FSC）	10:15	休憩		
10:30		208	気候変動下においても変化しない寒地型牧草の最終刈取り危険帯が越冬リスクへ与える影響ー過去のオーチャードグラスの栽培記録を用いた解析ー ○中村直樹1・下田星児2・眞田康治2（1道総研酪農試・2農研北海道）	10:30	座長	7. 土壌・肥料	
10:45		209	トールフェスク「スワイ」の耐寒性と採草利用時の生産性 ○佐藤靖武1・白川結美子1・安達美江子1・岩瀬 慶1・中村直樹2・有田敬俊2（1ホクレン・2道総研酪農試）	10:45	吉 村 元 博	701	飼料生産組織圃場における土壌分析等に基づいた堆肥の施用がギニアグラス「うーまく」の収量および成分におよぼす影響 ○金子 真1・加藤直樹2・後藤慎吉2・林 征幸3・吉川好文2（1農研畜産・2農研九沖・3農研本部）
				702		イネ科牧草の番草毎の放射性セシウム移行に及ぼす影響要因 ○山田大吾・内山和宏・渋谷 岳（農研畜産）	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月29日		
C会場（研修室1）		
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境
9:00	板野志郎	105 出現数による草地の植生調査法における「ベータ2項分布」と「べき乗則」の関係 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大・3山梨県富士山研究所）
9:15		106 出現数による草地の植生調査法：ベータ2項分布を用いて ○塩見正衛1・陳 俊2・山村靖夫1・紺野由佳1（1元・茨城大理・2西北農林科技大草業・草原）
9:30	休憩	
10:15	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用
	河本英憲	407 非対称電界イオン移動度スペクトロメトリによる牧草サイレージ発酵品質のオンサイト推定の可能性 ○清野大樹1・湊 啓子2・田中常喜1（1道総研酪農試・2道総研畜試）
10:30		408 携帯型近赤外分光器を用いた飼料用トウモロコシ未乾燥・未破碎サンプルのCP 含量測定精度の検証 ○福永優太1・加藤直樹1・村木正則1・高井智之1・服部育男2・後藤慎吉1・池田堅太郎1（1農研九沖・2東海大農）
10:45		409 飼料収穫機用破碎機の開発 ○川出哲生1・大澤 玲2（1農研農機・2埼玉農技研）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

ポスター発表 (4F ロビー)	
コアタイム：28日13：00－14：00 奇数番号 高校生発表 29日11：00－12：00 偶数番号	
1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P01	放牧地におけるドローン空撮画像を用いた牛体重推定モデル ○田中繁史・古野しえる・永井花音・高橋若菜・山城秀昭・板野志郎 (新潟大農)
P02	能登半島地震に伴う牧草地の液状化現象による牧草収量の変動 ○浅野桂吾1・友田和沙2・高岸愛可1・藤田千鶴1・橋谷田 豊1 (1石川県大生資環・2石川県大院生資環)
P03	斜面崩壊深度の異なる野草地における植生回復状況と土壌属性との関係 ○岡本智伸1・石田裕佳子1・大庭明莉1・天野真沙1・岩本竜介1・高屋 寿1・王 燿曜1・谷口淳之助1・鶴田光生1・櫻村 敦1・服部育男1・市原啓吉2 (1東海大農・2町古閑牧野組合)
P04	乳牛の泌乳期体重曲線のモデル化と異なる搾乳方式への適用 ○永井花音1・板野志郎1・平山瑛士1・武内彩乃1・山下 舞2・田中繁史1・高橋若菜1 (1新潟大農・2新潟畜研セ)
P05	数理モデルを用いた砂丘未熟土放牧草地の物質生産機構の解析 ○板野志郎・小野ほのか・南部陽向・寺井里海・永井花音・田中繁史・高橋若菜 (新潟大農)
2. 造成・管理・栽培	
P06	複数高度で取得したRTK-GNSS搭載UAV撮影画像によるDSMを用いた飼料用とうもろこしのCHMの形成 ○二門 世 (道総研酪農試天北)
P07	フレールモア等を用いた放棄茶園のチャノキ除去作業における圃場作業量および残渣量の評価 ○柿原秀俊・平野 清・渡辺也恭 (農研西日本)
P08	UAVを活用した圃場栽培における牧草種別の独立収量推定技術の検討 Pongpiyapaiboon Sorawich1・石垣元気2・○田中秀典2 (1宮崎大院農工・2宮崎大農)
P09	ベイジークラスの飼料としての有用性の検討 ○飛佐 学1・目原 唯2・井戸田幸子1 (1宮崎大農・2現 宮崎県)
P10	南九州地域における数種暖地型マメ科牧草の生産性の検討 (4)：2回刈における1番草刈取り時期が合計収量に及ぼす影響 ○飛佐 学 (宮崎大農)
P11	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：3. 屋間の遮光率を牧草優先としたパネル制御の効果-春播き暖地型牧草の生育への影響- ○鈴木伴英1・八代田真人2・合原地亮3 (1中部電力・2岐阜大応生・3ガリレオ)
P12	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：4. 屋間の遮光率を牧草優先としたパネル制御の効果-秋播き寒地型牧草の生育への影響- ○八代田真人1・鈴木伴英2・合原地亮3 (1岐阜大応生・2中電技術開発本部・3ガリレオ)
P13	福島県南相馬市の移植水稻後圃場での子実トウモロコシ栽培実証 ○内野 宙1・赤松佑紀1・佐々木 梢1・菅野 勉1・重松健太2・森田聡一郎3 (1農研畜産・2農研農機・3農研東北)
P14	南九州地域におけるファジービーンおよび暖地型イネ科牧草の混播栽培による生産性の検討 ○谷口京平・飛佐 学・吉澤佑真・井戸田幸子 (宮崎大農)
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは3月29日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 (4F ロビー)

コアタイム：28日13：00－14：00 奇数番号 高校生発表
29日11：00－12：00 偶数番号

2. 造成・管理・栽培

P15	生態調査に基づく防除モデルの適用によるアレチウリの種子生産抑制効果 松本悠希1・藤川哲平1・佐藤克昭1,2・白岩佑美子2,3・○高野 浩1,2 (1静岡畜技研・2静岡富士農林・3静岡畜産振興課)
P16	寒地型牧草の生産量に及ぼす草地更新方法と土壌pHの影響 ○東山雅一・的場和弘 (農研東北)
P17	寒冷地における荒廃草地への選択性除草剤散布およびペレニアルライグラス追播による植生及び牧草収量への影響 ○木村 中・河合沙織・遠藤実央子・中村良一・佐藤義人 (青産畜研)
P18	難防除雑草ガガイモにおける秋のロータリ耕が翌年の生育に及ぼす影響の評価 ○足利和紀 (道総研畜試)
P19	垂直型太陽光パネルの設置がチモシー主体草地の生産量に及ぼす影響 ○土井和也・吉岡 徹 (酪農大循環農)

3. 放牧・家畜管理・行動

P20	3Dプリント技術を活用した放牧牛の首上部IoT機器ホルダーの開発 ○胡日晝・柿原秀俊・渡辺也恭・平野 清 (農研西日本)
P21	ヒツジ放牧下におけるヨモギの個体サイズが被食圧および再生に及ぼす影響 ○友田和沙1・高岸愛可2・藤田千鶴2・辰野遥夏2・浅野桂吾2 (1石川県大院生資環・2石川県大生資環)

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P22	添加剤や「えさじまん」の利用がアルファルファ混播サイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○土井和也・宇都宮 颯・黒田祥平・三枝俊哉 (酪農大循環農)
P23	アルファルファサイレージの繊維消化性に及ぼす刈取時期の影響 ○清水琉聖・角谷芳樹・湊 啓子 (道総研畜試)
P24	貯蔵温度およびサイロ規模がサイレージ添加剤の効果発現に及ぼす影響～パウチおよび290 Lサイロを用いた発酵挙動の比較検討～ ○湊 啓子・清水琉聖・角谷芳樹 (道総研畜試)
P25	携帯型近赤外分光光度計を用いた牧草・飼料作物の飼料成分測定技術の開発 一切断長がイタリアンライグラスにおける反復測定の際のばらつきに及ぼす影響— ○服部育男1・寺田佳夏1・金子未歩1・岡本智伸1・櫻村 敦1・森 欣順2・荒川 明2・加藤直樹2 (1東海大農・2農研九沖)
P26	半自然草地に自生する野草の飼料化に向けた牛の嗜好性評価 ○横山優斗1・中嶋紀寛2 (1農工大農・2農工大FSセ)

5. 生理・形態・病理・昆虫

P27	イタリアンライグラスの早播き限界 ○上山泰史1・前原泰徳2・土方浩嗣2・湯山奈々1 (日本草地畜産種子協会1飼料作物研究所・2九州試験地)
P28	深水処理がイタリアンライグラスの乾物重量、草丈、葉数、分けつ数に及ぼす影響 ○森 欣順・荒川 明・高井智之 (農研九沖)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月29日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (4F ロビー)

コアタイム：28日13：00－14：00 奇数番号 高校生発表
29日11：00－12：00 偶数番号

6. 育種

P29	オギスキ飼料成分特性の経時的変化 ○久保田明人・岡崎和之・歐 玠皚 (農研東北)
P30	バヒアグラスにおける常緑性に関わるSGR遺伝子のゲノム編集 ○権藤崇裕1・本村早絵2 (1宮大フ・2宮大農)
P31	イタリアンライグラス難脱粒性中間母本系統の脱粒性および採種性 ○田村健一・山口貴史 (農研畜産)
P32	四倍体フェストロリウム (<i>Festulolium</i> spp.) 交配集団における越夏性関連形質の経時的評価とGWAS解析 ○山口貴史1・田村健一1・山本英司2 (1農研畜産・2農研作物)
P33	オギスキ「MB-1」および「MB-2」の長野県中野市現地圃場における草地造成特性 ○藤森雅博1・阿部貴典2・服部恵理子2・木村康司3・眞田康治1 (1農研北海道・2農業開発・3大成建設)
P34	strigosaエンバク (<i>Avena strigosa</i>) のサツマイモネコブセンチュウ抵抗性選抜マーカーの育種利用に向けた汎用化 ○上床修弘1・水林達実1・桂 真昭2・山川博幹1 (1農研作物・2農研九沖)

7. 土壌・肥料

P35	ダイズとトウモロコシの輪作栽培におけるもみ殻炭の連年施用が両作物の子実収量と一酸化二窒素の発生量に及ぼす影響 ○森 昭憲・山田大吾・渋谷 岳 (農研畜産)
P36	マメ科緑肥の植物高は後作の窒素減肥量を推定できる ○吉村元博 (農研北海道)
P37	更新時にバイオ炭混合堆肥を施用した草地の温室効果ガス収支と生産性の評価 ○森 昭憲・山田大吾・渋谷 岳 (農研畜産)

8. 高校生発表

P38	竹電柵を用いた採草地における獣害対策 ○高須友美 (庄原実業高校)
P39	十勝中央部の草地更新時休耕期間における暖地型作物の飼料利用適性の検討 ○三浦怜海1・鈴木柑南1・藤山 結1・渡部優翔1・川上あづさ2・越智丈斗3・今 啓人4・三浦颯太1 (1帯広農高・2道農政部技術普及課・3雪印種苗・4道総研畜試)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月29日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。